

糖尿病透析患者において夜間低血糖は睡眠障害に関連するか？

－ 皮下連続式グルコース測定（CGM）による検討

長崎腎病院

○川口利江 白井美千代 林田征俊 一ノ瀬 浩 佐々木 修 澤瀬健次
橋口純一郎 原田孝司 船越哲

【背景】

糖尿病透析患者の睡眠障害（SD）に影響する因子のうち、夜間低血糖の関与が報告されている。

【目的】

当院糖尿病透析患者の SD と夜間低血糖の関連を CGM にて検討する。

【対象・方法】

当院外来通院中の糖尿病透析患者のうち、睡眠導入薬を使用しておらず、CGM を施行し得た 20 例を対象とした。SD の定義はアテネ不眠尺度（AIS）を、夜間低血糖は ADA の定義を用いた。

【結果】

対象 20 名中 14 名が SD を有しており、また夜間低血糖は 20 名中 6 名に認められた。SD 症例において、有意に BMI が大きく、GA が高く、また非透析日より透析日に SD の頻度が高かった。しかし SD 症例にて夜間低血糖症例は 2 名のみで、両者は関連づけられなかった。

【考案】

透析患者の SD に与える因子は多様であり、今回の調査では夜間低血糖の関与は否定的であった。